

2020年12月8日

## 2020年度 食品部会活動報告

### 1. 運営体制

部会長 佐々木 達哉（ブラジル味の素）

副部会長 尾崎 英之（キッコーマン・ブラジル）※ 7月末～ 前任 秋元 壮  
介より変更

副部会長 岡本 武（ブラジル味の素）※ 9月～ 前任 関 宏道より変更

### 2. 活動方針

- ・部会メンバー相互の親睦を深め、有益な情報収集や共有を図る。
- ・部会メンバーの関心事項や共通課題に対する取組、企画の実施。

### 3. 具体的活動計画

1) 定例食品部会の開催（含む懇親会・情報交換会）。定例2回＋必要に応じ臨時食品部会の開催。

2) 業種別部会長シンポジウムにおける、部会としての取りまとめと発表。

3) 部会メンバーの関心事項や共通課題を取り上げての情報交換、勉強会、工場見学イベント等の企画。

4) 対話等の機会を通じて、伯側に事業環境改善の為の提案の継続。

### 4. 活動報告

2月 定例食品部会開催。

- ・食品市場動向と各社活動状況報告、部会長シンポジウム発表に向けた議論。
- ・当時はまだCOVID-19の影響は直接ブラジル国内までは及んでおらず、中国からの原料調

達への影響等を不安視する声もあったが、全体的には、新たな消費者ニーズ(インサイト)

の変化を見据えて準備を進めているという報告が会員各社から挙げられた。

3月 業種別部会長シンポジウム 2019年の業界動向と2020年度展望を報告。

副題「ビジネス環境改善に期待、いますべきこと」に対し、①将来への環境変化への備

え、②新たな市場トレンドや消費者ニーズを見据えた準備 の二点について、会員企業の

事例を踏まえて発表。

10月 農水省担当者との会合に参加(部会長)。中南米部会立ち上げ趣旨、運営イメージの説明

と意見交換を実施。今年度の日伯農業・食糧対話の予定等についても確認(その時点の情

報では、開催時期は未定、対面方式は難しくオンライン会議を模索中、規模は小さくなる

が民間企業からも参加を希望しているとのこと)。

11月 グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会中南米部会参加(各社の判断に応じ

て参加)

COVID-19の影響がブラジル国内にも本格化した3月下旬以降は、当部会全体としての実質的な活動は実施できていない。

以上